

【事例11】 工賃向上に向けた取組

施設名	花農場（龍ヶ崎市川原代町）		
設置者	（社福）ゆっころ		
定員	20名		
利用者数	31名		
平均月額工賃の推移 （ ）は旧計算式	R3：18,263円	R4：20,261円	R5：37,397円 (20,862円)
主な作業内容	花苗の生産・販売、園芸用カゴトレイのリサイクル		

工賃向上に向けたアドバイス

■ 「自信がある」商品を製作・販売する

- ・土づくりにこだわり⇒「他と違って“花苗の根張り”が違う」とのリピーターの声。
- ・「これだけ良い苗を作っている」ことから安売りをやめた⇒生産量はやや減少したが売上額は伸びている

■ 競合相手と重ならない「すき間」を見つける

- ・花き農家が販売しにくい・重複しない顧客をターゲットにしている

■ 販路開拓のための「アンテナ」を高く持つ

- ・職員一人ひとりが営業マンの認識を持つことで、人間関係などを通じて新たな販路先が開拓できている

その他

- ・利用者の大半は精神障害者。土づくりや手入れなど花き栽培を通じて、入所当初よりも生活リズムが安定する利用者が多い
- ・夏場の暑さ対策として、夏用の勤務時間の導入や休憩時間を増やしている（例：20分作業したら20分休憩）
- ・一般の花き農業者は、輸送コスト等を考慮して、ホームセンターや市場を対象に一定規模の花苗を卸したい意向がある（=花き農業者が受注しにくい規模の顧客が対象）
- ・市内の小中学校へも個別に訪問し、卒業式用の花苗など細かいニーズにも対応している
- ・繁忙期は花の植え替え時期（5～6月、10～11月）。それ以外の時期は土づくりや栽培用トレイ・苗ポットの洗浄・リサイクル作業に従事



栽培された花苗は、地元小中学校の卒業式などで利用されている

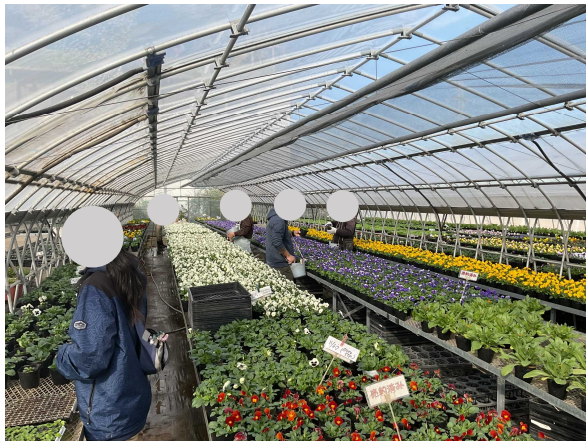
施設外観



作業の様子 (左: 土づくり、右: 苗ポットへ土入れ)



(花苗の手入れ作業)



(栽培用トレイや苗ポットの洗浄)



(洗浄した苗ポットの検品)

